月　日

名前

／

実力UP! - Seminar -

1 次の文章を読んで問に答えなさい。

ある時、川のほとりに、狐、魚を食ひける折節、狼、飢ゑに臨んで歩み来たれり。狐に申すやう、「その魚を少し与へよ。①餌食になしてむ」と言ひければ、狐申しけるは、「あなおそれ多し。②我が余を奉るべしや。籠を一つ持ち来たらせ給へ。魚を取りて参らせむ」とa言ふ。狼ここかしこに駆けまはつて、籠を取りてぞ来たりける。狐教へけるやうは、「この籠を尾に付けて、川の真ん中を泳がせ給へ。後より魚を追い入れむ」と言ふ。狼、籠をくくり付けて、川を下りにb泳ぎける。A狐後より石を取り入れければ、次第に重くて、一足も引かれず。狼、狐に申しけるは、「魚の入りたるか、ことの外に重くなりて、一足も引かれず」と言ふ。狐申しけるは、「さん候ふ。ことの外に魚の入りて見え候ふ程に、我が力にては引き上げがたく候へば、③獣を雇ひてこそ参らめ」とて、陸に上がりぬ。狐あたりの人々に申し侍るは、「かのあたりの羊を食らひたる狼こそ、ただいま川中にて魚を盗み候へ」とc申しければ、我先にとd走り出で、散々に打擲しける。（「伊曾保物語」より）

問一　線部a～dの動作の主体は何か、適当なものを次より選び記号で答えなさい。（重複可）

a（　）b（　）c（　）d（　）

ア　狐　イ　狼　ウ　羊　エ　魚　オ　人々

問二　傍線部①～③の現代語の意味として最も適当なものを次より選び記号で答えなさい。①（　）②（　）③（　）

①　ア　それを私が食べよう　イ　おまえを餌食にしよう
　　ウ　私の狩りのえさにしよう
　　エ　おまえにもご馳走してやろう

②　ア　私の食べ物を横取りされるわけにはいかない
　　イ　私があなたに食べられるわけにはいかない
　　ウ　私の食べ残しをさしあげるわけにはいかない
　　エ　私の食べ物では狩りをすることができない

③　ア　獣に食べていただきましょう
　　イ　獣をつれて参りましょう
　　ウ　獣に雇われるわけには参りますまい
　　エ　獣の力にはかないますまい

問三　波線部Aについて、狐が石を入れた目的は二つある。それはどういうことか説明しなさい。

（　　）
（　　）

問四　この話では、狼は最後どうなったか、説明しなさい。

（　　）